

ブルーベリー果実利用研修会

夷隅農業事務所改良普及課 令和元年 10月 15日 発

夷隅農業事務所では9月20日に、いすみ市の農村体験交流施設で管内ブルーベリー生産者を対象に、起業家育成を目的として果実利用研修会を開催し、生産者、関係機関併せて35名の出席がありました。前半は、農産加工を専門とする講師から、個人のジャム加工について衛生的な充てんと殺菌方法の研修を受けました。一つ一つの工程を確認し、加工技術のレベルアップにつながりました。後半は、千葉県食品工場協議会の事務局長から、農産物を加工原料として出荷する際の考え方を、実際の取り組み事例を交えて講義していただきました。講師の「その産地にしかない“物語”が重要」との言葉に、出席者も“いすみ”の物語について考えるきっかけとなったようでした。

農業事務所では今後も、ブルーベリーの生産拡大と併せて、加工の取組と産地と事業者の連携を支援していきます。



ジャム加工研修の様子



果実利用研修の様子